

# 2022年度第2四半期決算説明資料

2022年11月1日

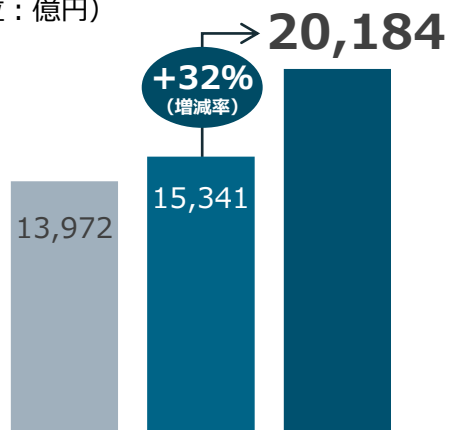
三菱重工業株式会社

<b>I. 決算のポイント</b>	<b>3-6</b>
<b>II. 2022年度第2四半期決算実績</b>	<b>7-15</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>• 連結経営成績サマリー</li><li>• 連結財政状態、キャッシュ・フロー</li><li>• 事業利益増減分析</li><li>• セグメント情報</li></ul>	
<b>III. 2022年度業績見通し</b>	<b>16-18</b>
<b>IV. 補足資料</b>	<b>19-22</b>

# I. 決算のポイント

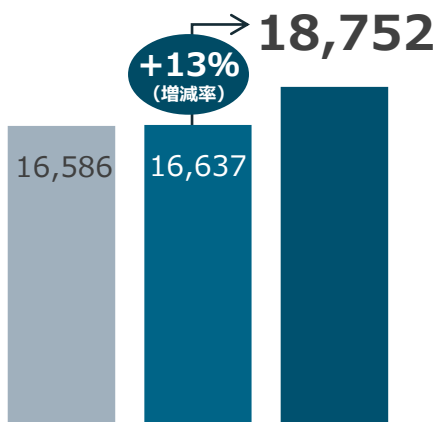
## 受注高

(単位：億円)



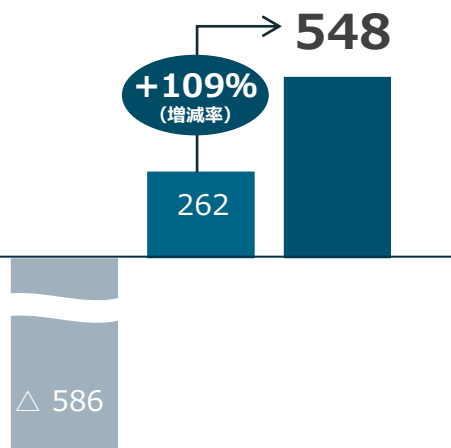
FY20-2Q FY21-2Q FY22-2Q

## 売上収益



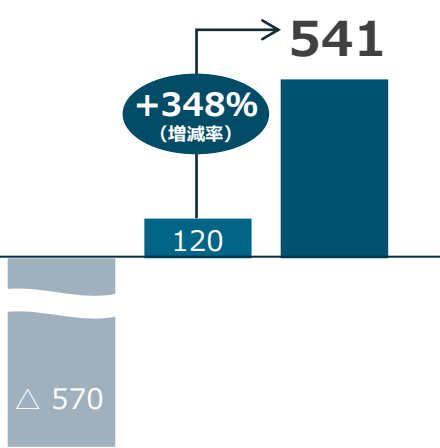
FY20-2Q FY21-2Q FY22-2Q

## 事業利益



FY20-2Q FY21-2Q FY22-2Q

## 当期利益



FY20-2Q FY21-2Q FY22-2Q

## EBITDA

**1,222**

億円

(YoY +313億円)

EBITDAマージン  
6.5%  
(YoY +1.0%)

## フリーCF

**△1,013**

億円

(YoY +367億円)

営業CF  
△928億円  
(YoY +396億円)

## 有利子負債

**8,740**

億円

(YoY △1,972億円)

純有利子負債  
5,481億円  
(YoY △2,635億円)

## D/Eレシオ

**0.50**

(YoY △0.24)

## 自己資本比率

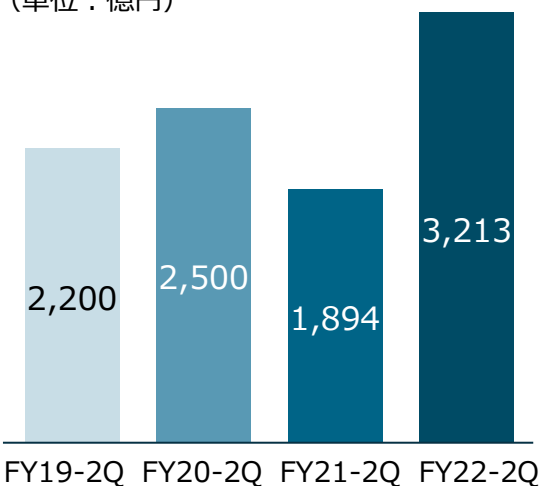
**31.0%**

(YoY +2.7%)

- 受注高：20,184億円（前年同期比：+4,842億円）  
GTCC、航空エンジン、原子力、製鉄機械、物流機器、冷熱を中心に受注を伸ばし、全セグメントで前年同期比増加  
【スライドP.6でGTCC、製鉄機械、物流機器、冷熱を補足】
- 売上収益：18,752億円（前年同期比：+2,115億円）  
GTCC、航空エンジン、原子力、製鉄機械、物流機器、冷熱を中心に売上収益を伸ばし、エネルギー、物流・冷熱・ドライブシステム、航空・防衛・宇宙の3セグメントが前年同期比増収
- 事業利益：548億円（前年同期比：+286億円）  
売上増、固定費削減、為替影響により、事業利益は前年同期の262億円から倍増
- 当期利益：541億円（前年同期比：+420億円）  
事業利益の増加に加えて、円安進行による為替差益も寄与し、当期利益は前年同期の120億円から348%増加し541億円となった。

## GTCC

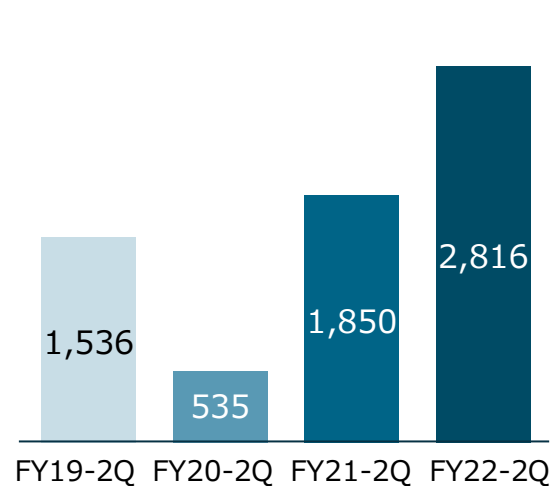
(単位：億円)



アジア、米州、中東において新設案件を受注。米州を中心に長期サービス契約も受注

将来の水素転換を前提にした新規商談が増加

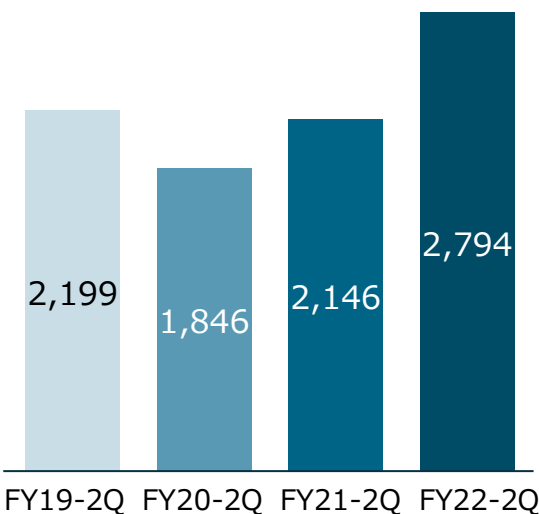
## 製鉄機械



日本を含むアジア、米州、欧州において受注が拡大

製鉄の脱炭素化を見据えた引き合いが増加し、欧州ではグリーンスチール生産に対応した新世代型電気炉を受注

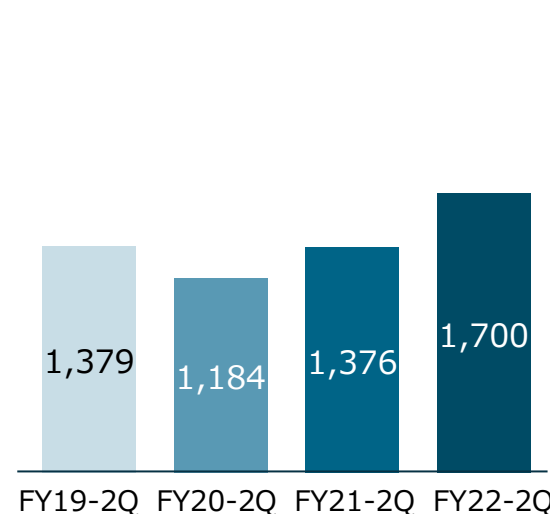
## 物流機器



前年同期比で販売台数が増加、とくに米国において伸長

米州ではレンタル・中古車販売も好調。価格改定の効果も徐々に実現

## 冷熱



日本を含むアジア、欧州、大洋州、中東で受注が拡大

豪州では高いブランド認知度と製品評価を梃子にトップレベルの市場シェアを維持

## Ⅱ. 2022年度第2四半期決算実績

(単位：億円)	FY2021-2Q (利益率)	FY2022-2Q (利益率)	増減 (利益率)	(増減率)
<b>受注高</b>	15,341	20,184	+4,842	(+31.6%)
<b>売上収益</b>	16,637	18,752	+2,115	(+12.7%)
<b>事業利益</b>	262 (1.6%)	548 (2.9%)	+286 (+1.3%)	(+109.2%)
<b>親会社の所有者に 帰属する当期利益</b>	120 (0.7%)	541 (2.9%)	+420 (+2.2%)	(+348.1%)
<b>EBITDA</b>	909 (5.5%)	1,222 (6.5%)	+313 (+1.0%)	(+34.4%)
<b>フリー・キャッシュ・フロー</b>	△1,380	△1,013	+367	

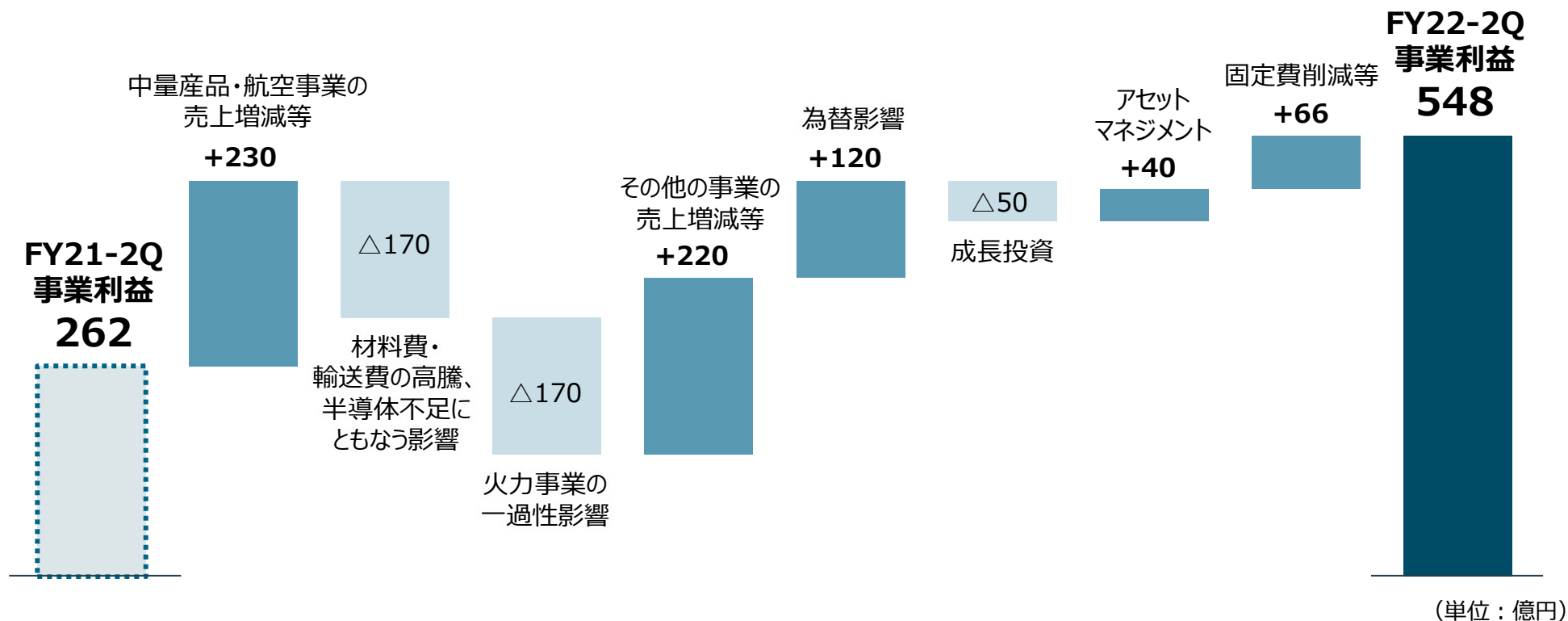


# 連結財政状態、キャッシュ・フロー

連結財政状態	(単位：億円)	FY21末	FY22-2Q末	増減
売上債権（営業債権、契約資産）		13,994	14,283	+288
棚卸資産		7,986	9,296	+1,310
その他流動資産		6,050	6,291	+240
（現金及び現金同等物）		(3,142)	(3,258)	(+116)
固定資産		9,892	10,086	+193
投資等		13,239	13,809	+570
<b>資産合計</b>		<b>51,163</b>	<b>53,767</b>	<b>+2,603</b>
営業債務		8,632	7,808	△823
契約負債		8,865	9,672	+807
その他		9,690	9,911	+221
有利子負債		7,349	8,740	+1,391
資本		16,625	17,633	+1,007
（うち親会社の所有者に帰属する持分）		(15,766)	(16,669)	(+903)
<b>負債・資本合計</b>		<b>51,163</b>	<b>53,767</b>	<b>+2,603</b>
キャッシュ・フロー	(単位：億円)	FY21-2Q	FY22-2Q	増減
営業キャッシュ・フロー		△1,324	△928	+396
投資キャッシュ・フロー		△55	△85	△29
フリー・キャッシュ・フロー		△1,380	△1,013	+367

# 事業利益増減分析

- 材料費・輸送費の高騰の影響が利益を押し下げ。年度後半に価格適正化の効果実現を見込む
- 火力事業において前年同期の好採算工事進捗の反動により前年同期比で利益が減少。加えて、石炭火力事業の欧州拠点縮小にともない一時費用を計上
- 売上増、為替影響、アセットマネジメント、固定費削減等が利益を押し上げ



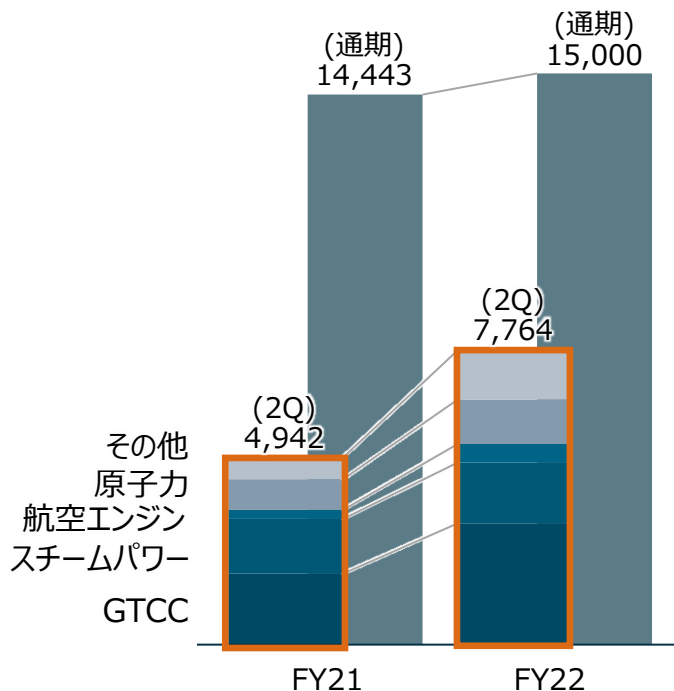
# 2022年度第2四半期決算実績 セグメント別内訳

	受注高			売上収益			事業利益		
	FY21 2Q	FY22 2Q	増減	FY21 2Q	FY22 2Q	増減	FY21 2Q	FY22 2Q	増減
(単位：億円)									
エネルギー	4,942	7,764	+2,822	6,738	7,690	+952	1	196	+194
プラント・インフラ	4,113	4,746	+632	3,017	2,921	△95	70	106	+36
物流・冷熱・ ドライブシステム	4,661	5,781	+1,119	4,544	5,634	+1,089	146	84	△62
航空・防衛・宇宙	1,781	2,077	+296	2,473	2,623	+149	76	176	+99
全社又は消去	△157	△185	△28	△136	△117	+19	△33	△15	+18
合計	15,341	20,184	+4,842	16,637	18,752	+2,115	262	548	+286

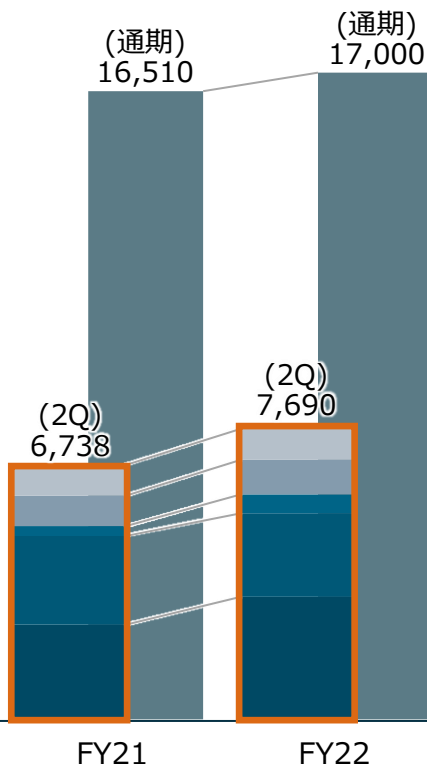
# セグメント別 決算実績 <エナジー>

(単位：億円)

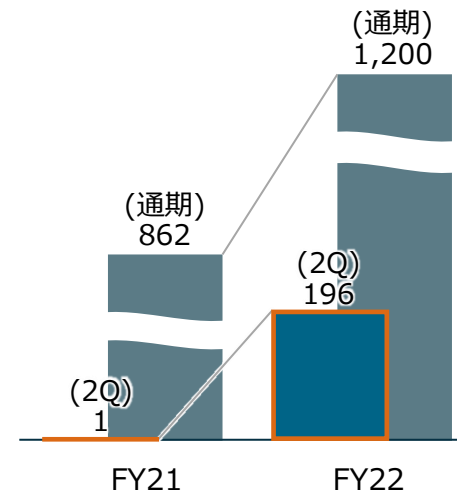
## 受注高



## 売上収益



## 事業利益



### 2Q実績 前年同期比

- 増益：**
- 航空エンジン
  - 原子力
- 減益：**
- スチームパワー

## 受注高

主な事業	FY21-2Q	FY22-2Q
GTCC	1,894	3,213
スチームパワー	1,437	1,598
航空エンジン	236	484
原子力	804	1,169

## 売上収益

	FY21-2Q	FY22-2Q
その他		
原子力		
航空エンジン		
スチームパワー		
GTCC	2,545	3,274
<b>合計</b>	<b>6,738</b>	<b>7,690</b>

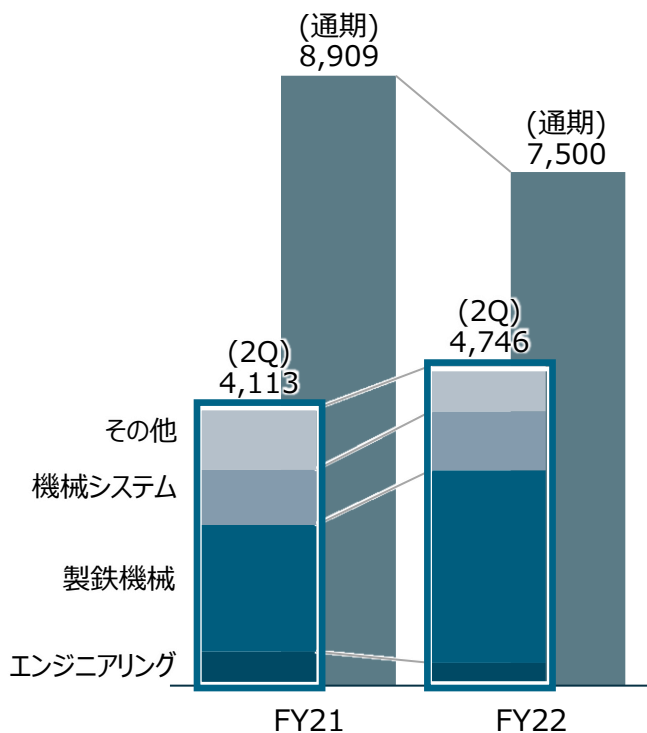
## 決算実績のポイント

- GTCCは受注、売上ともに好調
- 石炭火力事業の欧州拠点縮小にともない一時費用を計上
- 航空エンジンは航空需要回復にともないスเปアパーツ販売、MRO事業ともに好調
- 原子力は堅調に推移

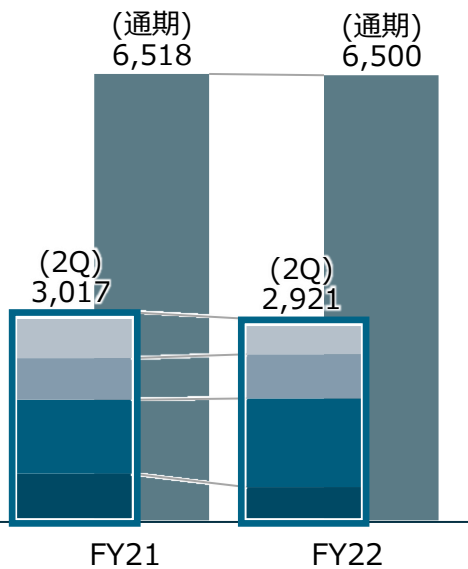
# セグメント別 決算実績 <プラント・インフラ>

(単位：億円)

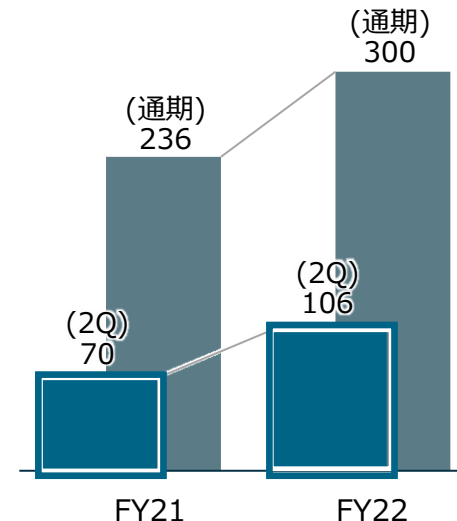
## 受注高



## 売上収益



## 事業利益



### 2Q実績 前年同期比

- 増益：**
- ・製鉄機械
  - ・機械システム
- 減益：**
- ・エンジニアリング

## 受注高

主な事業	受注高	
	FY21-2Q	FY22-2Q
エンジニアリング	568	403
製鉄機械	1,850	2,816
機械システム	804	858

## 売上収益

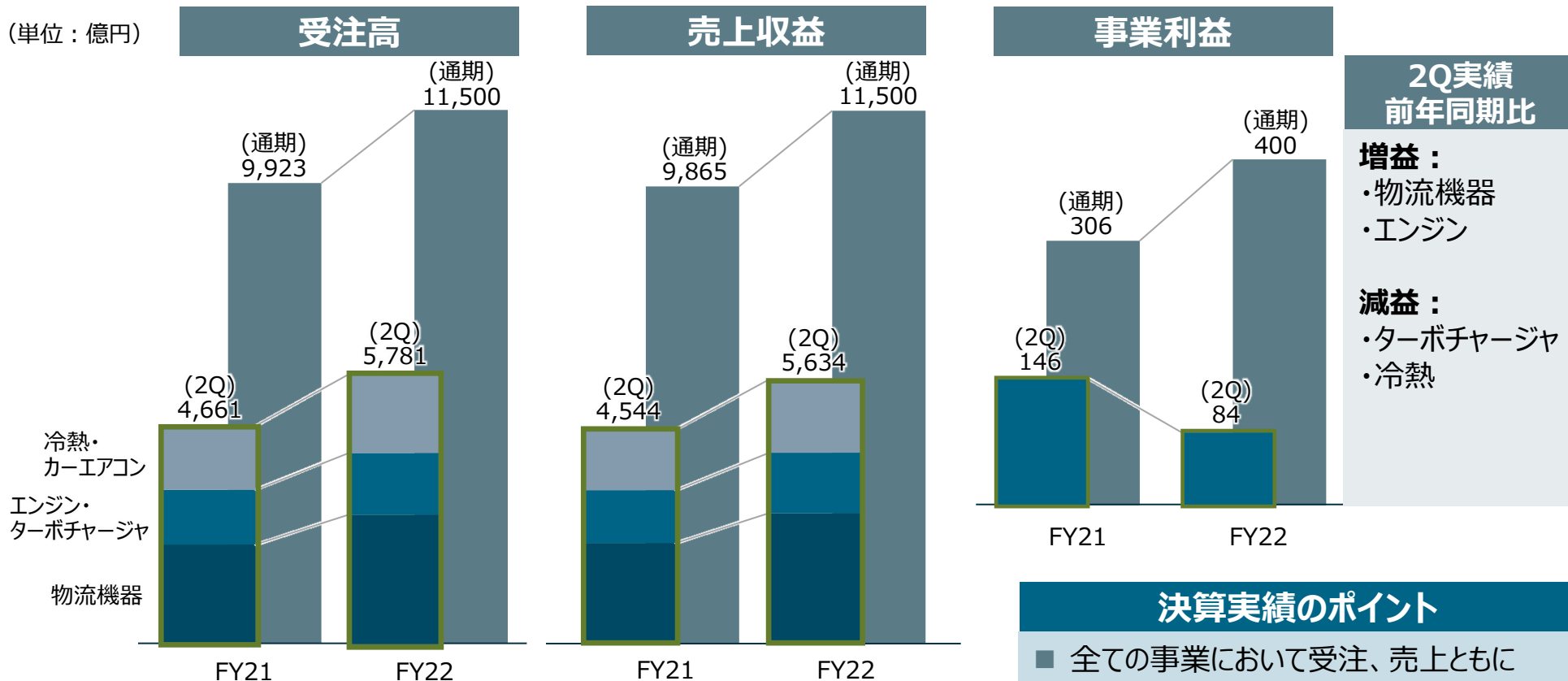
主な事業	売上収益	
	FY21-2Q	FY22-2Q
エンジニアリング	662	466
製鉄機械	1,077	1,292
機械システム	609	647

## 決算実績のポイント

- 製鉄機械は、日本を含むアジア、米州、欧州において新設案件を受注し、好調であった前年同期の受注をさらに上回る。
- エンジニアリングの一部案件において円安進行にともなう見積りコスト増加により利益が減少

# セグメント別 決算実績 <物流・冷熱・ドライブシステム>

(単位：億円)



**2Q実績  
前年同期比**

**増益：**

- ・物流機器
- ・エンジン

**減益：**

- ・ターボチャージャ
- ・冷熱

主な事業	受注高	
	FY21-2Q	FY22-2Q
物流機器	2,146	2,794
エンジン・ターボチャージャ	1,180	1,327
冷熱・カーエアコン	1,376	1,700

主な事業	売上収益	
	FY21-2Q	FY22-2Q
物流機器	2,146	2,794
エンジン・ターボチャージャ	1,140	1,298
冷熱・カーエアコン	1,299	1,583

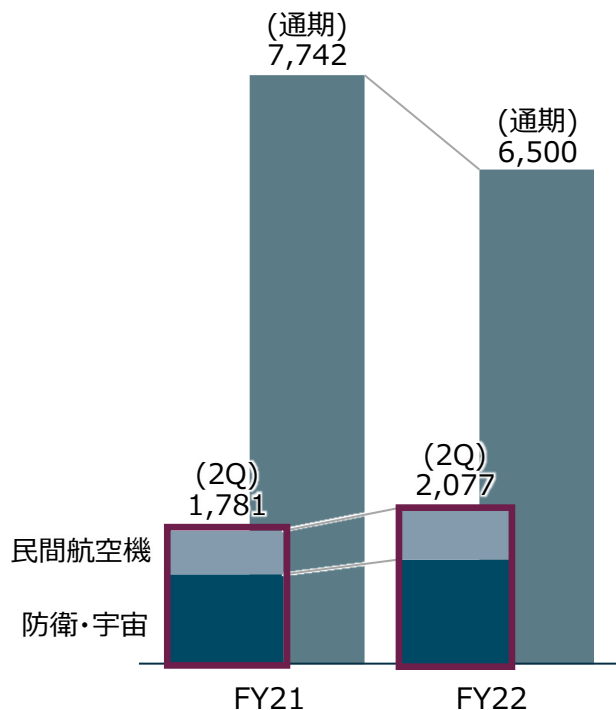
**決算実績のポイント**

- 全ての事業において受注、売上ともに前年同期を上回る。物流機器は北米、冷熱は日本を含むアジアを中心に受注、売上が増加
- 材料費・輸送費の高騰の影響を受けて減益。通期では価格適正化の効果実現により損益改善を見込む。

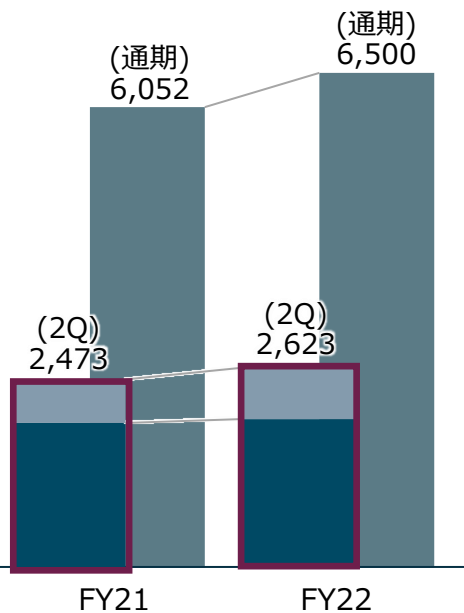
# セグメント別 決算実績 <航空・防衛・宇宙>

(単位：億円)

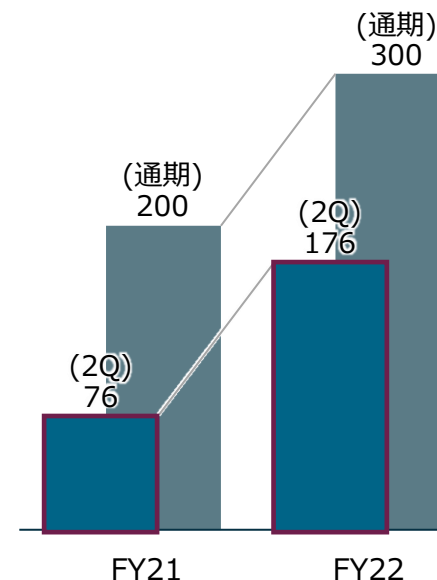
## 受注高



## 売上収益



## 事業利益



### 2Q実績 前年同期比

- 増益：**
- ・艦艇・特殊機械
  - ・民間航空機
- 減益：**
- ・防衛航空機・飛昇体

## 受注高

主な事業	FY21-2Q	FY22-2Q
防衛・宇宙	1,207	1,402
民間機	574	676

## 売上収益

	FY21-2Q	FY22-2Q
防衛・宇宙	1,900	1,952
民間機	573	671

## 決算実績のポイント

- 防衛・宇宙は、受注が前年同期比増加。売上、利益ともに堅調に推移
- 民間機は、Tier1事業のうち貨物機・ビジネスジェットを受注が増加。売上増に加えて固定費抑制と為替影響により増益

## Ⅲ. 2022年度業績見通し

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、また、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

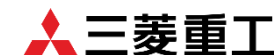
従いまして、この業績見通しのみにより投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。

実際の業績は、様々な重要な要素により、この業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与える要素には、当社グループの事業領域をとりまく経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レート、日本の株式相場などが含まれます。



# 2022年度業績見通し サマリー



前回公表値（2022年8月5日）から見直し

(単位：億円)	2021年度 (利益率)	2022年度 (利益率)		2021年度比 増減 (利益率)	(増減率)
		今回見直し	前回公表値		
受注高	40,677	40,000	37,000	△677	(△1.7%)
売上収益	38,602	41,000	39,000	+2,398	(+6.2%)
事業利益	1,602 (4.2%)	2,000 (4.9%)	2,000 (5.1%)	+398 (+0.7%)	(+24.8%)
親会社の所有者に 帰属する当期利益	1,135 (2.9%)	1,200 (2.9%)	1,200 (3.1%)	+65 (+0.0%)	(+5.7%)
ROE	7.7%	7.7%	7.7%	-	
EBITDA	2,924 (7.6%)	3,300 (8.0%)	3,300 (8.5%)	+376 (+0.4%)	(+12.9%)
フリー・キャッシュ・フロー	3,018	△1,000	△1,000	△4,018	
配当	100円 中間45円/期末55円	120円 中間60円/期末60円	120円 中間60円/期末60円	前提為替レート： 1ドル=140円（前回 120円） 1ユーロ=140円（前回 130円） 未確定外貨：16億ドル、3億ユーロ	

# 2022年度業績見通し セグメント別内訳



前回公表値（2022年8月5日）から見直し

(単位：億円)	受注高				売上収益				事業利益			
	FY21 実績	FY22見通し		FY21比 増減	FY21 実績	FY22見通し		FY21比 増減	FY21 実績	FY22見通し		FY21比 増減
		今回	前回			今回	前回			今回	前回	
エネルギー	14,443	15,000	14,000	+557	16,510	17,000	16,500	+490	862	1,200	1,300	+338
プラント・ インフラ	8,909	7,500	6,500	△1,409	6,518	6,500	6,500	△18	236	300	300	+64
物流・冷熱・ ドライブシステム	9,923	11,500	10,500	+1,577	9,865	11,500	10,500	+1,635	306	400	400	+94
航空・防衛・ 宇宙	7,742	6,500	6,500	△1,242	6,052	6,500	6,000	+448	200	300	200	+100
全社又は消去	△341	△500	△500	△159	△345	△500	△500	△154	△3	△200	△200	△198
合計	40,677	40,000	37,000	△677	38,602	41,000	39,000	+2,398	1,602	2,000	2,000	+398

## IV. 補足資料

## 大型ガスタービン 受注台数・契約残台数

	FY21-2Q	FY21通期	FY22-2Q
米州	-	5	2
アジア	2	5	4
EMEA	-	-	1
その他	2	6	-
合計	4	16	7
契約残台数	46	46	42

### 【参考】中国の協業先企業における受注台数

	FY21-2Q	FY21通期	FY22-2Q
受注台数	4	7	19

## 民間航空機 出荷機数

777	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
FY21	5	4	6	5	20
FY22	6	7	/	/	13

777X	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
FY21	2	1	1	0	4
FY22	1	0	/	/	1

787	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
FY21	14	5	4	2	25
FY22	5	7	/	/	12

## 研究開発費、減価償却費、設備投資

(単位：億円)

	FY21-2Q	FY22-2Q	2022年度見通し
研究開発費	509	537	1,300
減価償却費	647	674	1,300
設備投資	565	529	1,300

## 販売費及び一般管理費

(単位：億円)

	FY21-2Q	FY22-2Q
販管費	2,668	2,935

## 為替レート (売上計上平均レート)

	FY21-2Q	FY22-2Q
USドル (円 / USドル)	109.1	130.2
ユーロ (円 / ユーロ)	130.0	136.9

受注残高 (単位：億円)	FY21-4Q	FY22-2Q
エネルギー	31,144	33,333
プラント・インフラ	12,434	15,962
物流・冷熱・ドライブシステム	432	581
航空・防衛・宇宙	10,871	10,332
<b>合計</b>	<b>54,885</b>	<b>60,215</b>

地域別売上高 (単位：億円)	FY21-2Q		FY21通期		FY22-2Q	
日本	7,873	(47%)	18,877	(49%)	7,699	(41%)
アジア・パシフィック	3,206	(19%)	7,116	(18%)	3,786	(20%)
米州	3,134	(19%)	7,399	(19%)	4,669	(25%)
EMEA	2,423	(15%)	5,208	(14%)	2,597	(14%)
<b>合計</b>	<b>16,637</b>	<b>(100%)</b>	<b>38,602</b>	<b>(100%)</b>	<b>18,752</b>	<b>(100%)</b>

